

2024年度（一社）鳥取青年会議所

委員長 所信書

委員長 本多 亜矢

1 近年、インターネットやSNSが当たり前となり、会わなくても完結できる便利な世の
2 中になったと同時に、コミュニケーションをとるのに必要である対話力が低迷している中
3 で、2024年度のスローガンは“結ぶ”対話を軸にしたまちづくり・ひとづくり、と掲
4 げられました。鳥取青年会議所は2024年に65周年を迎えます。メンバーも私の入会
5 当時と比べ約40%減となっています。周年事業を、鳥取青年会議所を盛り上げるには、
6 メンバー同士が対話を通して今以上結束し、楽しいことも辛いことも共有できる仲間づく
7 りが必要です。仕事以外の沢山のことを経験し、沢山の仲間をつくり、共に成長出来る組
8 織にしたいと考えます。今後もこの地域を守り創っていくであろうJayceeが地域の
9 見本となり、楽しみながら同志としてより良い絆を深め、積極的に活動できるJayce
10 eになってほしいと考えます。そのためにはまずはJC内で楽しむことを忘れず、個性を
11 尊重しそれぞれの能力を活かしながら学ぶJCであることが必要ですJaycee絆委員
12 会では他委員会の目標になるよう「資料づくり」の委員会にせず、会話を通した「絆づく
13 り」の委員会にします。そうすればその輪が広がり能動的に協力し行動できるひとが増え
14 ると考えます。事業を通じて、個性が活かされ、誰もが楽しみながら能動的にJC活動へ
15 参画できるメンバーが増え、「楽しみながら学ぶ」が実現します。

16 Jaycee絆委員会の委員長として自覚を持ち、メンバーを支え、いろんな理由で来
17 れなくなったメンバーにも声掛けをし、皆が足並みを揃えて委員会活動に参画して頂ける
18 よう、常に感謝の気持ちを忘れず、私自身も含めメンバーが仲良く楽しく成長していける
19 ような委員会運営をし、メンバーの今後のJC活動や志事に繋がるように努めるのが自分
20 の思い描く委員長像です。